

目標を立てていた。それは、集中力をつけることだった。今まで勉強をする時、私は集中力を維持することができずにいた。休暇中、まず時間を決めて勉強をし、5分の休憩をとつて、また勉強を繰り返した。その結果、確かに集中力はついたかもしれないが、まだそれを何時間も持続させることは少し難しい。なので、今学期は集中力を維持することを目標とする。

そして、休暇が明けて学校に帰ると、赤ネクタイが待っていた。赤ネクタイをもら

入学始業礼拝

今まで、休み中は勉強があまりできなかつた。自分への甘えがあつたのだろうか。何か計画するはいいものの、それを実行に移すことができていなかつたと思う。しかし、今回の長期休暇に入る前に、私はある



一目次

入学始業礼拝	ページ
球技大会	1 ~ 4
ハーフターム	5
JAPANESE EVENING	6 ~ 7
春のミニ・アウティング	8
EC 授業レポート	9
ハリー・ポッターのふくろうがやってきた！	10
社会のフィールドワーク	
CRANLEIGH DISCOVERY	11
チャプレンより	12
着任・離任の先生方	12
訃報	12

* コラム *

RIKKYO's SAKURA	2
1学期の行事	3
初めてのウィンブルドン	4
今年も漢字書き取りコンクール！	7



第二百六十四号 一一〇一三一年七月十二日
発行者 立教英学院
RIKKYO SCHOOL IN ENGLAND
GUILDFORD ROAD, RUDGWICK RH12 3BE
<http://www.rikkyo.co.uk>

最後の一年
高三 穴澤 厚介

今まで、ふーんと軽く思っていた。しかし、翌朝いざネクタイをしてみると、緊張を感じることができた。これをつければ自分は高三です。というのが外部からもはつきりわかつてしまふし、何より自覚することによつて改めて、責任感も感じることができた。そんな色々な意味で重い赤ネクタイをこれからずっとつけていく。

つた時、ふーんと軽く思っていた。しかし、翌朝いざネクタイをしてみると、緊張を感じじることができた。これをつければ自分は高三です。というのが外部からもはつきりわかつてしまふし、何より自覚することによつて改めて、責任感も感じることができた。そんな色々な意味で重い赤ネクタイをこれからずっとつけていく。

うという事も、今はそんな事は少しも感じない。つまり、自分で言うのには少し感じが引けるが、心が広くなつたと思う。そして何より、友人がいることに感謝しなくてはならないのかもしれない。今の私を作り上げてくれたのは、間違いなく周りの友人である。

今年から高校三年生。高校生活最後の年

高二一一 煙田 夏実

満開の桜を見る度に、ああ去年はもう散り尽くしたあとだった、と感慨が胸に押し寄せる。花が咲いているせいか、春、新学年の始まりを身にしみて感じるのはわたしだけだろうか。そしてそう考えるとき、わたしは常に一年という時間の長さと短さを思い知るのだ。

一年前のわたしは文字通り右も左もわからなくて、新しい生活にのろおろするばかりであった。それから、思いきり笑つたり泣いたりして日々を過ごし、自分でも気付かぬうちに大きく成長したことだろう。しかし、たくさんの中入生を前にして、一年前憧れた先輩になれているのかと自問すれば、その答は否かもしない。見えるところも見えないところも、この特殊な環境での一年分、大人になれているのだろうか。少なくとも、春休みが始まつた頃は、一ヶ月後の自分が負うであろう義務や責任を自覚していなかつた。

春休みに、横須賀に保存されている古い戦艦を観に行つた。世界三大記念艦の一つに数えられる「三笠」は、日本海海戦における大勝利をもたらした帝国海軍の、自慢の軍艦であつた。約百年前、露國のバルチック艦隊を前にして、連合艦隊の旗艦である「三笠」は信号旗を掲げる。Z旗とよばれるそれは、「皇國ノ興廢此の一戦ニアリ各員一層奮労努力セヨ」という意味を持つていた。近代化の波に乗り、今までにそこの有名な信号文を改めて見たとき、わたしはこの言葉が、海軍の兵士たちのみならず、わたし自身にも向けられていること悟つた。

「皇國」はわたし自身、「各員」はわたしの心身すべての部分。そして「此の一戦」

は高校二年生として過ごす一年を指す。グローバルでシビアな現代社会に足を踏み入れ、列強の仲間入りを果たした日本。わたしの将来は、この一年にかかる。Z旗に、そういわれた気がした。この信号文は、大学受験を視野に入れ、学校を引っ張つて行く学年を迎えるわたしに、「一層奮労努力」しろ、と喝を入れているのだ。やがて大人になったときに厳しい世の中で生き

と。学生時代の努力や培つた人間性が、その人を作るのだと。満開の桜を背景に、今わたしの目の前にZ旗が掲げられている。

3年後の自分

高二一一 山田 紘毅

僕は3年後、自分の力だけで生きていく人になりたいと思つていて。だから、立教英國学院に入学しました。立教英國学院に来て3つの事に気づきました。

1つ目は、学校にいる全ての人がたくさんのコミュニケーションをとることです。こんなに仲のいい人たちがいると知つて驚きました。

2つ目は、

すべての生徒と先生達が大きな家族、大家族として過ごしている事です。

3つ目は、

この学校には日本人以外の先生がたくさんいます。そして、さら



にイギリスにある為、たくさんのイギリス人とコミュニケーションをとつていくことができる事です。僕はこの環境を活かして英語の力を伸ばしていきたいと思つました。自分の目標の為に大切なのは、もちろん3つ目も大切なですが、1つ目と2つ目がこの中で一番大切だと思いました。なら、自分の力だけで生きていくのに必要な友達が必要だからです。この学院には世界のあちこちから来ている人がいるので、大人になつてもお互いを助け、支え合うことが出来ます。

僕はこの学校のいろいろな良いところを活かし、自分が3年後、理想的の自分になれよう努力をしていきたいと思つています。

残るために、今「此ノ一戦」を制せなければならぬ。組織の中心となつて学校を動かし、社会的責任も大きくなる高校二年生は、大人という名の列強の列の後方に、並んでいる。わたしはこの信号を見て、その義務や果たすべき役割を、はつきり自覚しました。

先学期、高野チャップレンも繰り返し仰つた。人生を決めるのは学生時代の生き方だ



RIKKYO's SAKURA

2013年の今年、創立以来はじめて、立教生が桜と共に始業入学礼拝をを迎えました。



立教の桜は、ずいぶん昔のことですが、日本で用意された桜の木々150本を遠く英国まで空輸してもらったものです。植物を運ぶことは、検疫もあり、容易なことではありませんでした。まず植物の検疫に定評のあるオランダに一度送り、経由して英国に空輸されました。

けれども、日本とおなじような気候とはいえ、やや涼しい英国。桜の木の一部は根付かず、死んでしまいました。しかし多くはイギリスの土地に根を張り、今も30本近くの桜が毎春、元気に花を咲かせてくれます。

いつもは生徒が戻る前に散ってしまう桜ですが、例年より涼しかった今春は、入学始業礼拝を桜と共に迎え、それから1週間以上、花見を楽しむことができました。

決断

高一一年 石上 直弥

僕にとつてのこの春休みを一言で表すのならば、それは「決断」だつただろう。

春休み中、いくつもの決断をしなければならないことがあった。それは、新年度を迎えるにあたつて、自分はどういう高校生活を送りたいかを考えることであつたり、はたまた家庭の事情で転校することも考えたりだつた。

まず始めに、昨年度三月に僕は立教英國学院中学部を卒業した。しかしこの学校は中高一貫の学校で、高校生の先輩方とも食事や生活を共にしていることもあり、関わりが深いのであまり他の中学校の卒業で起る「離別」のような感情は起こらなかつた。そして、この学校において中学部卒業と高等部入学の流れは、ただ、今まで通りそこにある「既存の道」

新生活・新学年を迎えて

を進むだけだと思つていた。

しかし帰宅してから何日かたつたある日、父親にある話をされた。それは、日本への本帰国が決まつた、ということだつた。その話は僕に、今までにない感覚を味あわせた。

僕は三年前からボーランドに父の仕事の都合で住んでいた。ボーランドに来て2年半はボーランドのアメリカンスクールに在学していく、去年の2学期から立教英國学院に転入した。その理由は、アメリカンスクールでは9月から学校が始まり6月で終わり、去年の6月で僕は学校を卒業したので、行く宛もなく、両親に知らされたこの学校に入学した。

今書いた通り、僕はこれまで、自分の歩む人生である「道」を人に流されて進んできたのである。そんな僕にとって父親の話は僕を困惑させるものだつた。その内容というのが、両親が日本に帰り、転校するのか自分で決めるというものだつたからだ。僕は深く考えた。そこで僕は初めて自分の人生にまつすぐに向き合つた。

そして僕は、この立教英國学院に残ることを決めた。それと共にこれから3年間精一杯に頑張る覚悟をした。僕はアメリカンスクールに行つていたこともあり、多少は英語を話すことができる。しかし、このまま日本に帰つてしまえば、自分が培つてきた英語力を無駄にしてしまうと考えたのがこの学校に残ると決めた一番の理由だつた。

この学校では週に4時間、「EC」(English Communication)という授業があり、その授業ではイギリス人の先生がネイティブの英語で授業をしてくれるというもので、日本の学校にはない、英

語力向上の大きなチャレンジなのである。またこの学校は地域交流も盛んで本場の英語に触れる機会がたくさんあるのだ。ホームステイであつたり、対外試合であつたり、

機会は作ろうと思えばいくらでもある。確かに英語力の維持や向上も大きな理由だが、もうひとつ僕がこの学校に残ることを選んだ理由がある。僕は体を動かすことが好きで、放課後は基本、部活をして過ごしている。しかし僕は飽きっぽい性格で、色々なスポーツをやつてみたいと思った。

そこでこの学校の兼部制度に惹かれた。この学校では兼部が可能であり、部にはいくつ入つても良い。またそれぞれの体育会系の部活では他校との対外試合があるので色々な競技を楽しめる。

それらの大きな理由は僕をこの学校に留まらせるには十分過ぎた。そして学校に残ることを決めて、これから3年間の目標を立てた。その目標もこの学校ならでは、僕の英語力を活かせる良いチャレンジだ。

この学校では1学期に1度、英検などの点を目指してこれから勉強しようと思つた資格試験も身近に感じられる。3種類ある英語資格試験の中で僕が目標にしたのはTOEICだ。卒業までに800点から900点を目指してこれから勉強しようと思つた。そして4月14日、入学式を迎えた。この学校は何も変わっていなかつた。ただのイギリスの片田舎にある学校だ。しかし僕はその今まで通りの学校を見て、新しい道を歩み始めようとしている自分に気付いた。元からある道を何も考えずに辿ろうとした自分に、「決断」は新しい道を作つてくれた。心を入れ替えて、自分が決めた人生をしつかりと歩む覚悟を決めた自分に、「成長したなあ。」なんてくだらないことを思いながら、また立教英國学院での生活に戻つていつた。



【1学期の行事】

4月 14日	入学始業式
4月 15日	身体測定、オリエンテーション
4月 16日	高等部実力テスト
4月 20日	委員会・クラブ活動紹介
4月 27日	球技大会
5月 5日	TOEICの実施
5月 9日	テニス部対外試合
5月 10日	Japanese Evening
5月 12日	生徒会主催 Guildford Shopping
5月 13日	ブルーベル見学
5月 17日	ロンドン・アウティング
5月 18日	バレーボール部対外試合 EPSOM CUP
5月 19日	サッカー部 OB 戰 (home)
	ギター部コンサート
5月 25日～6月 2日	ハーフターム
6月 6日	テニス部対外試合
6月 8日	実用英語技能検定一次試験 (準1級、1級)
6月 9日	実用英語技能検定一次試験 (3級、2級)
6月 12・15日	ケンブリッジ英語検定の実施
6月 25日～7月 1日	期末考査
6月 29日	温ブルドン テニス観戦
7月 4日	スクールコンサート
7月 6日	終業式・生徒帰宅
7月 6～13日	夏期ホームステイ
7月 7～13日	Wolverhampton Girl's High School 短期留学
7月 8～12日	高等部 3年 難関大受験者向け夏期補習

自立する為の春休みの準備

中二 塚田 泰成

よくよく考えてみると、もう中二である。この年齢になると、いい加減自立しなければいけないと徐々に感じていた。そのため、春休みに自立できるように努力しようと思った。

春休み中に祖母の家に泊まる予定があったので、自立するために勉強の計画を自分で考えたり、また寮に戻る際に必要な物などを考えたり、自立できるようになるために頭を使い、いろいろ考えた。

また、自立できるようになるには、自身の能力もあるが、心もいろいろなことが降りかかってきても耐えられるようにしておかないと感じ、いろいろなことを体験し、学ぶ、そして自分の心に余裕を持てるようにするということを意識して行った。

その結果、徐々に自分で成し遂げられることが増えてきて、目標へと一步ずつ進んだが、それからが難しかった。それは自分で成し遂げられることが多くなったとしても、その成し遂げられることを自分から率先してやらないと自立へは結びつかないからである。

その自分から率先してやるということが完全にできるようになるには長い期間がかかると思い、自立すること以外にもう1つ目標を作った。それは毎日外出することだ。前の夏休みや冬休みでは家の中に1日中いることが多かったが、それはよくないと思いつてこの目標を立てた。

その目標を立ててから1日目、思い切って外に出てみた。でも、何も変わった様子はなく、ただ普通の道をうろついて散歩して終わった。その時私は何か面白みを持たないで外に出ることなどただの苦痛だと感

じ2日目まで考えていた。でも全くいい考

えが浮かばなかつた。そして2日目になりまた外に出た。面白みを見いだせなかつたため同じことが再び起ころうと思ったが、とりあえず外に出で新しい発見をしようという決意で外に出た。すると、隣の家の車が新車になつていて、りすぐ走つていて、昨日には発見できなかつた新しい出来事が沢山おこつていて、遂に面白みを掴めた。それは、昨日と違う点を見つけることにあると感じた。面白みを掴むと苦痛を感じることなく継続できた。

こうして春休みは終盤を迎え、この作文を書いているが、春休みで習得したものを受けた。十分に發揮し、新たなスタートを切りたい。さらに、チャレンジして駄目だった点を改善してうまく繋げていくことでもつと良くなることも分かつた。だから、成功を生み出すためには準備が必要である。



新入生の受付案内は高3が務めます。
昨年度高3の提案もあってよりスムースに行われました。

2013 ウィンブルドン・テニス観戦 THE CHAMPIONSHIPS, WIMBLEDON

初めてのウィンブルドン

高2-2 伊藤 菜七子

テニスを愛する私にとって、立教英国学院で一番楽しみにしていたのは、今日行われたウィンブルドンだった。テニスプレイヤーにとっては聖地であり、TVの画面越しで見ると生で観るのとでは全くと言っていいほど迫力が違った。

私が観戦したのは、イギリスの若手新鋭である女子テニスプレイヤー、ローラのシングルスだった。彼女は、ジュニアで入賞した経験を持ち、ミックスでも銀メダルを取ったことのある選手だ。最初のセットをローラは相手に大きな差を付けられて落としまった。ウィンブルドンの二番コートは芝で、よく滑るせいか、ラリーがあまり続かなかつた。若手の彼女にはプレッシャーもまだあったのだと思う。この前、初めてテニスの試合を経験した私は、彼女の気持が少しづかたったような気がした。



しかし、二セット目。ローラは立ち直った。体が慣れてきたものもあったのかもしれないが、私は、彼女を一番立ち直らせたのは、彼女を応援していた観客の声援だったと思う。イギリスの新鋭であるローラは、コート中の観客の声援を受けていた。二セット目の途中から段々と顔に余裕が出てきて、最終セットで勝利したときには笑顔でガッツポーズをする姿を見せた。

スポーツにおいて、自分自身の力というものは勝利のためには何よりも一番の力である。しかし、それだけではないと私は思う。それは、一緒に練習してきた仲間、指導してくださるコーチ、そして、その人を応援する周りの人々の力だ。そのことが、今日のウィンブルドンで一番学んだことだ。そして、もっとテニスが好きになれたことが嬉しかった。

球技大会

「球技大会」

中三 今井 開斗

球技大会は、一年の中で一番最初の全校行事である。だから時差ボケでスポーツをするのはとても辛かった。種目はバスケットボール。僕は団体競技が苦手で、特にバスケは苦手な一つだった。でも中一、中二と頑張つて続けてきたので挑戦してみた。休みはあまりなく、常にボールを持っていましたが走っているか、それだけだった。平日は授業が終わると、着替えて練習、土日の午後は全部練習。苦手な僕にとっては、地獄だった。しかし、お互い声を掛け合つたり、教えてもらつたりしていると、楽になれる。チームプレイで重要なのは助け合うこと。それがわかった。

ぼくは背が低く、力も弱いので、相手や味方と比べたら、ただの棒だ。遠くからシートはできない、ディフェンスの時も相手にかわされる、役立たずの存在だ。でもこんな僕に合う良い作戦があつた。ディフェンスの時に僕はボールをドリブルして襲つてくる敵をカバーし、仮にそれが僕をかわしてシューントしても、味方がカットしたり、リバウンドでとれば守れる。そこからが僕の重要な任務だ。味方がとつた瞬間、

練習していくうちにシュートなどもだんぶんうまくなつていったが、オフェンスのコツがどうしてもつかめなかつた。それで先輩に怒られたりして練習に行きたくない思つて強くなつていつた。でも、自分は今回の中の球技大会でシュートして点を決めてチームに貢献することが大きな目標だつた。だからメロスのよう勇気をふりしぶつて毎日練習をした。勉強も忙しくて、スポーツで疲れて、精神的にも肉体的にも疲れてしまつた自分は何より寝る時間が一番幸せだつた。何にもしないで休めるのが一番自分が助けてくれると思った。

練習する時間がもう少ない、球技大会前日、緊張と不安に包まれてすごく体が重かつた。でも明日で終わると思うとやる気が起きた。

そして当日。自分にとつては運命の日であつた。果たして今まで練習してきた成果を発揮できるか、勝てるか、心配だつた。

味方に迷惑をかけない、周りを見て判断して自分ができることを見つける、それを心に留めた。



球技大会に向けて、
生徒会・体育委員で挙げる鯉のぼり

敵がいないゴールに向かつて走行し、そして味方が僕に投げたボールをキヤツチして

レイアップで決めるという作戦だ。こうい

う作戦だからつて簡単にかわさせてあげ

はいけないのでベストをつくさなければな

らなかつた。

練習していくうちにシュートなどもだん

ぶんうまくなつていったが、オフェンスの

コツがどうしてもつかめなかつた。それで

先輩に怒られたりして練習に行きたくない

思つて強くなつていつた。でも、自分は今

回の球技大会でシュートして点を決めてチ

ームに貢献することが大きな目標だつた。

だからメロスのよう勇気をふりしぶつて

毎日練習をした。勉強も忙しくて、スポー

ツで疲れて、精神的にも肉体的にも疲れて

しまつた自分は何より寝る時間が一番幸せ

だつた。何にもしないで休めるのが一番自

分を助けてくれると思った。

練習する時間がもう少ない、球技大会前

日、緊張と不安に包まれてすごく体が重か

つた。でも明日で終わると思うとやる気が

起きた。

そして当日。自分にとつては運命の日であつた。果たして今まで練習してきた成果を発揮できるか、勝てるか、心配だつた。

味方に迷惑をかけない、周りを見て判断して自分ができることを見つける、それを心に留めた。

敵は普段とは違う雰囲気で恐ろしかつた

ので、相手をにらみつけながら、味方に声

を掛けながら試合は進んでいた。すると、

ちょうどゴール下にいた自分はゴールを見つめてボールが出るか見ていた。出

た瞬間、飛び上がりボールをキヤツチし、

ボールに書いてある四角の角をめがけて打

つと、ボールは入つた。そう、点を決めた

のだ。そうすると、不安もふき飛び、チ

ームに貢献でき、本当に嬉しかつた。この

自分が目標にしていた事が達成できた。

ようなことが三回あり、結果僕は六点決め

ることができた。ボールをカットしてレイ

アップで点を決めることはできなかつたが、

自分が目標にしていた事が達成できた。

バッセは男女両方とも全勝し、結果はエ

メラルドの優勝。二百点差の圧勝だつた。

その中に自分が決めたのも入つていると思

うと、すごく嬉しかつた。

球技大会をやり通した事で新入生との仲

も深まり、今回最高な球技大会だつたと

思う。一生残る思い出、立教にいて忘れら

れない思い出が作れて良かった。これから

も様々な学校行事に積極的に参加しようと思

う。

敵は普段とは違う雰囲気で恐ろしかつた

ので、相手をにらみつけながら、味方に声

を掛けながら試合は進んでいた。すると、

ちょうどゴール下にいた自分はゴールを見つめてボールが出るか見ていた。出

た瞬間、飛び上がりボールをキヤツチし、

ボールに書いてある四角の角をめがけて打

つと、ボールは入つた。そう、点を決めた

のだ。そうすると、不安もふき飛び、チ

ームに貢献でき、本当に嬉しかつた。この

自分が目標にしていた事が達成できた。

ようなことが三回あり、結果僕は六点決め

ることができた。ボールをカットしてレイ

アップで点を決めることはできなかつたが、

自分が目標にしていた事が達成できた。

バッセは男女両方とも全勝し、結果はエ

メラルドの優勝。二百点差の圧勝だつた。

その中に自分が決めたのも入つていると思

うと、すごく嬉しかつた。

球技大会をやり通した事で新入生との仲

も深まり、今回最高な球技大会だつたと

思う。一生残る思い出、立教にいて忘れら

れない思い出が作れて良かった。これから

も様々な学校行事に積極的に参加しようと思

う。

敵は普段とは違う雰囲気で恐ろしかつた

ので、相手をにらみつけながら、味方に声

を掛けながら試合は進んでいた。すると、

ちょうどゴール下にいた自分はゴールを見つめてボールが出るか見ていた。出

た瞬間、飛び上がりボールをキヤツチし、

ボールに書いてある四角の角をめがけて打

つと、ボールは入つた。そう、点を決めた

のだ。そうすると、不安もふき飛び、チ

ームに貢献でき、本当に嬉しかつた。この

自分が目標にしていた事が達成できた。

ようなことが三回あり、結果僕は六点決め

ることができた。ボールをカットしてレイ

アップで点を決めることはできなかつたが、

自分が目標にしていた事が達成できた。

バッセは男女両方とも全勝し、結果はエ

メラルドの優勝。二百点差の圧勝だつた。

その中に自分が決めたのも入つていると思

うと、すごく嬉しかつた。

球技大会をやり通した事で新入生との仲

も深まり、今回最高な球技大会だつたと

思う。一生残る思い出、立教にいて忘れら

れない思い出が作れて良かった。これから

も様々な学校行事に積極的に参加しようと思

う。

敵は普段とは違う雰囲気で恐ろしかつた

ので、相手をにらみつけながら、味方に声

を掛けながら試合は進んでいた。すると、

ちょうどゴール下にいた自分はゴールを見つめてボールが出るか見ていた。出

た瞬間、飛び上がりボールをキヤツチし、

ボールに書いてある四角の角をめがけて打

つと、ボールは入つた。そう、点を決めた

のだ。そうすると、不安もふき飛び、チ

ームに貢献でき、本当に嬉しかつた。この

自分が目標にしていた事が達成できた。

ようなことが三回あり、結果僕は六点決め

ることができた。ボールをカットしてレイ

アップで点を決めることはできなかつたが、

自分が目標にしていた事が達成できた。

バッセは男女両方とも全勝し、結果はエ

メラルドの優勝。二百点差の圧勝だつた。

その中に自分が決めたのも入つていると思

うと、すごく嬉しかつた。

球技大会をやり通した事で新入生との仲

も深まり、今回最高な球技大会だつたと

思う。一生残る思い出、立教にいて忘れら

れない思い出が作れて良かった。これから

も様々な学校行事に積極的に参加しようと思

う。

敵は普段とは違う雰囲気で恐ろしかつた

ので、相手をにらみつけながら、味方に声

を掛けながら試合は進んでいた。すると、

ちょうどゴール下にいた自分はゴールを見つめてボールが出るか見ていた。出

た瞬間、飛び上がりボールをキヤツチし、

ボールに書いてある四角の角をめがけて打

つと、ボールは入つた。そう、点を決めた

のだ。そうすると、不安もふき飛び、チ

ームに貢献でき、本当に嬉しかつた。この

自分が目標にしていた事が達成できた。

ようなことが三回あり、結果僕は六点決め

ることができた。ボールをカットしてレイ

アップで点を決めることはできなかつたが、

自分が目標にしていた事が達成できた。

バッセは男女両方とも全勝し、結果はエ

メラルドの優勝。二百点差の圧勝だつた。

その中に自分が決めたのも入つていると思

うと、すごく嬉しかつた。

球技大会をやり通した事で新入生との仲

も深まり、今回最高な球技大会だつたと

思う。一生残る思い出、立教にいて忘れら

れない思い出が作れて良かった。これから

も様々な学校行事に積極的に参加しようと思

う。

敵は普段とは違う雰囲気で恐ろしかつた

ので、相手をにらみつけながら、味方に声

を掛けながら試合は進んでいた。すると、

ちょうどゴール下にいた自分はゴールを見つめてボールが出るか見ていた。出

た瞬間、飛び上がりボールをキヤツチし、

ボールに書いてある四角の角をめがけて打

つと、ボールは入つた。そう、点を決めた

のだ。そうすると、不安もふき飛び、チ

ームに貢献でき、本当に嬉しかつた。この

自分が目標にしていた事が達成できた。

ようなことが三回あり、結果僕は六点決め

ることができた。ボールをカットしてレイ

アップで点を決めることはできなかつたが、

自分が目標にしていた事が達成できた。

バッセは男女両方とも全勝し、結果はエ

メラルドの優勝。二百点差の圧勝だつた。

その中に自分が決めたのも入つていると思

うと、すごく嬉しかつた。

球技大会をやり通した事で新入生との仲

も深まり、今回最高な球技大会だつたと

思う。一生残る思い出、立教にいて忘れら

れない思い出が作れて良かった。これから

も様々な学校行事に積極的に参加しようと思

う。

敵は普段とは違う雰囲気で恐ろしかつた

ので、相手をにらみつけながら、味方に声

を掛けながら試合は進んでいた。すると、

ちょうどゴール下にいた自分はゴールを見つめてボールが出るか見ていた。出

た瞬間、飛び上がりボールをキヤツチし、

ボールに書いてある四角の角をめがけて打

つと、ボールは入つた。そう、点を決めた

のだ。そうすると、不安もふき飛び、チ

ームに貢献でき、本当に嬉しかつた。この

自分が目標にしていた事が達成できた。

ようなことが三回あり、結果僕は六点決め

ることができた。ボールをカットしてレイ

アップで点を決めることはできなかつたが、

自分が目標にしていた事が達成できた。

バッセは男女両方とも全勝し、結果はエ

メラルドの優勝。二百点差の圧勝だつた。

その中に自分が決めたのも入つていると思

うと、すごく嬉しかつた。

球技大会をやり通した事で新入生との仲

も深まり、今回最高な球技大会だつたと

思う。一生残る思い出、立教にいて忘れら

れない思い出が作れて良かった。これから

も様々な学校行事に積極的に参加しようと思

う。

敵は普段とは違う雰囲気で恐ろしかつた

ので、相手をにらみつけながら、味方に声

を掛けながら試合は進んでいた。すると、

ちょうどゴール下にいた自分はゴールを見つめてボールが出るか見ていた。出

た瞬間、飛び上がりボールをキヤツチし、

ボールに書いてある四角の角をめがけて打

つと、ボールは入つた。そう、点を決めた

のだ。そうすると、不安もふき飛び、チ

ームに貢献でき、本当に嬉しかつた。この

自分が目標にしていた事が達成できた。

ようなことが三回あり、結果僕は六点決め

ることができた。ボールをカットしてレイ

アップで点を決めることはできなかつたが、

自分が目標にしていた事が達成できた。

バッセは男女両方とも全勝し、結果はエ

メラルドの優勝。二百点差の圧勝だつた。

その中に自分が決めたのも入つていると思

うと、すごく嬉しかつた。

球技大会をやり通した事で新入生との仲

も深まり、今回最高な球技大会だつたと

思う。一生残る思い出、立教にいて忘れら

れない思い出が作れて良かった。これから

も様々な学校行事に積極的に参加しようと思

う。

敵は普段とは違う雰囲気で恐ろしかつた

ので、相手をにらみつけながら、味方に声

を掛けながら試合は進んでいた。すると、

ハーフターム



私はラジウイックにある家庭でホームステイをした。私にとって三回目のホームステイだ。しかし今までのホームステイは二回とも同じ年代の子供がいる家に行つて、その子の学校と一緒に通うというものだつた。だからすることが決まっていない、自由なホームステイだった今回、今までとは全く違つた。まずは学んだことは、声の大きさだ。私の夫婦二人暮らしだつた。会話をするととき私にとっての普通の音量で話すと、よく耳を

ハーフターム

高一一 沼澤 莊生

私はラジウイックにある家庭でホームステイをした。私にとって三回目のホームステイだ。しかし今までのホームステイは二回とも同じ年代の子供がいる家に行つて、その子の学校と一緒に通うというものだつた。だからすることが決まっていない、自由なホームステイだった今回、今までと

た。日本では、時間に追われてせかせか暮らしている人が多いと思う。また外国に比べて、家ではよくテレビがついていて、家族との会話が少なくなりがちだ。食事の時間も、二十分弱など短い家が多いのではないだろうか。一週間ホームステイをしてみて、家族と沢山話したり、ゆつたり食事をとつたりする生活はいいなと思った。家で真似しようと思う。リラックスできたハーフタ

ムだった。私はラジウイックにある家庭でホームステイをした。庭には多くの植物があり、自分達で育てた野菜やハーブを料理に使うそうだ。天気が良いと、庭で読書をしたり、紅茶を飲んだり、とにかく良く庭でリラックスしていた。私から見てホストファミリーは毎日笑つていて、とても楽しそうだった。たまに、忙しそうで、いつも疲れているような人を見かけるが、まさに正反対だ。私もホストファミリーの様に、力を抜いて、上手く生活できるようになりたい。

私がホームステイした家は、とてもゆつたりしていた。庭には多くの植物があり、自分達で育てた野菜やハーブを料理に使うそうだ。天気が良いと、庭で読書をしたり、紅茶を飲んだり、とにかく良く庭でリラックスしていた。私から見てホストファミリーは毎日笑つていて、とても楽しそうだった。たまに、忙しそうで、いつも疲れているような人を見かけるが、まさに正反対だ。私もホストファミリーの様に、力を抜いて、上手く生活できるようになりたい。

「首じゃなくて、言葉にして。」
と言われ、知ったことだ。他にも相づちを意識して頻繁に、大きめに外音の話が弾むと気付いた。これからも外音の方と話をするとときは、大きな声で、はつきりとオーバーリアクションで話そうと思う。

傾けられてしまう。また、逆に意識して大きく話すと、うれしそうに聞いてくれた。そうして気づいたことは、外国の方にとつて私は反応が薄いと思われがちだということだ。だから大きな声ではつきりと反応することが大切だと思った。また、首を縦や横にふつて自分の意志を示すのではなく、yes、noと言葉にすることが、小さいけれど大事だと知った。これはホストファミリーから、

家族の温かさ

高一一 三村 美優

立教生となつて家を離れ、約1カ月が経ち、初めてのハーフタームを迎えた。たつた一週間の短い休みだったが、とても大切だと思った。私は「家族の温かさ」だ。

よく「離れて気づくものがある。」と言ふ。この言葉が、今では以前の何倍にも感じられる。今までいかに家族が大切か、ということは理解していた。しかし立教生になって初めて親元を離れ、家族を離れ生活していくと。家から時間をかけて笑顔で私を迎えてくれた。私はなんて恵まれているのだろ



ステイ先でつくった
オムライス

えに来てくれ、車中では「今日は何を食べたい?」と聞いてくれる。家に着いたら家族全員が「おかえり」と迎え入れてくれる。私の部屋も私が立教にいる間に母が掃除をしてくれていて、すぐに使い慣れたベッドで休むことができた。夕食には私の好物がテーブルに並ぶ。立教へ入学する前と後で家族は変わつてない。しかし毎日家族が私してくれることひとつが温かく、大切なことに感じる。立教へ入学する前と後で立教の全てがあたりまえで、いつも必ずそばにいるものだつた。毎日朝早く母が起き、愛情を込めて作つてくれたお弁当をな

ホームステイ Q & A

Q1 立教生はどれくらいホームステイをするの?

A. 今年のハーフタームは、約100名の生徒が英国人家庭にホームステイをしました。これは全校の3分の2にあたります。

Q2 どんな家庭にステイするの?

A. ロンドンといった都市ではなく、カントリーサイドの穏やかな環境の家庭がホストファミリーになります。中学生以下の場合は、イギリスの様々なところへ連れ出してくれる家庭があたるように配慮しています。農場だったり、小さいお子さんがいたり、広い庭とテニスコートがあつたりと、家庭環境はそれぞれ。ステイ先のお子さんと仲良くなったり、スポーツに汗を流したり、外出したりして、交流とイギリスの生活を体験します。

ぜ残してしまつたのだろう。時間はあつたはずなのに、どうしても家への手伝いをしなかつたのだろう。後悔を挙げればきりがない。そんなことに気づけたのも初めて家を、家族を離れたからだと思う。そこで、今私がすべきことは何だろう。早いもので高一の一学期も後半に入つてしまつた。ということはついに学期末テストが行われる。今まで学んだ事を十分に復習し、満足な結果を得て私がんばりを家族に伝えたい。そしてこれからも家族に感謝して、一日一日を過ごしていきたい。

From the Host Family...

During the half-term period we had three students stay with us: Mitsutaka, Dan and Genki. We are writing to say how much we enjoyed their company in our home.

All three students showed themselves to be friendly, respectful and to have a great sense of humor. They were helpful and kind and joined in when asked.

These boys are a credit to your school and their families. We wish them every success for the future.

Best regards



Thank you very much for having us!

"It was with great pleasure that I hosted four of your students, Daisuke, Wataru, Atsushi and Yo last week. They always tried hard to practice their English at meal times, and we had some good conversations over supper. They told us that they had a good week, with local outings to Horsham and Guildford, a shopping trip to London, and playing with Kipper our dog. Paul and I wish them all well!"

"Both Haruhi and Marika were an absolute delight and would be welcome to come and stay with us at any time".

I wanted to write and say that our first homestay experience has been a wonderful one. We hosted Rina, Mana and Aiko who were an absolute delight and a credit to the school and themselves. If you can please pass this onto their teachers it would be much appreciated. If we ever have the opportunity to host any of these girls again we would be very happy!

Many thanks



See you soon!

今年も漢字書き取りコンクール！

6月9日（日）、毎年恒例の漢字書き取りコンクールが今年も行われました。小学校5年生から高校3年生まで、全校生徒で漢字の書き取り100間にチャレンジします。もちろん、先生たちも生徒たちとともに取り組みます。「先生に勝つぞ！」と、毎年意気込み、盛り上がります。

100問ですが、そう容易に満点がとれないのが、立教漢字コンクール。まず、とめとハネまで正確さを求められるから。またウルトラCと呼ばれる超難問が8問出題されるのです。この問題ゆえに、立教の漢字コンクールを覚えている卒業生も多いのではないでしょうか。

今回のテーマは「空想上の生き物」。この問題に何が出るかを予想するのも生徒の楽しみです。

「天使や妖精も出るのかな？」

ハーフタームが明けてからわずか1週間。

「先生、漢字の過去問題5年分ください！」

「ここは、はねですか、とめですか」

などと言って、意欲的に教員室にやってくる生徒も少なくありませんでした。

コンクール開催は夜だったので、いつもはゆっくりしている日曜の午後も、漢字の勉強を一生懸命している生徒の姿が見られました。どんな行事にも積極的に取り組むのが、立教生のいいところですね。

立教漢字コンクール

問題に挑戦！

7. 6. 5. 4. 3. 2. 1.

妖 怪 ろ く ろ	ほ う お う	え ん ま の よ う	ん ま の よ う	じ ん ま の よ う	じ ん ま の よ う	じ ん ま の よ う	に しひ が さ す 部 屋
が と く る	が つ ば き	が つ ば き	が つ ば き	が て い げ ん	が て い げ ん	が て い げ ん	損 害 を こ う む る
首	を 広 げ る	な お そ ろ し い	な お そ ろ し い	い げ ん す る	い げ ん す る	い げ ん す る	じ ん と う で 指 揮 す る

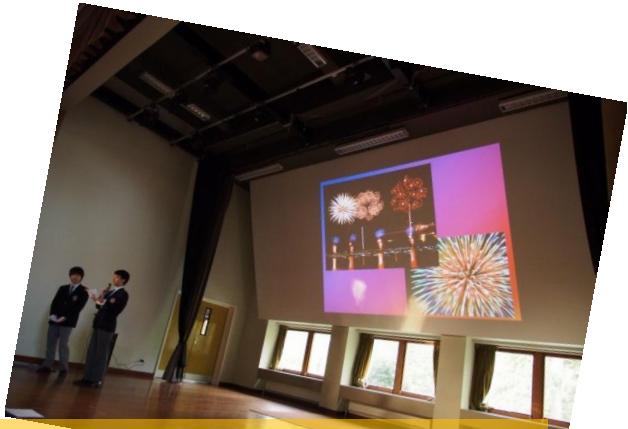
こたえは9ページに。

新学年が始まり、沢山の新入生が入学し、最初の大イベント「球技大会」が終わると、息つく暇もなく次の行事「Japanese Evening」の準備が始まりました。たゞぐさえ忙しい立教生ですが、今年は生徒会と地域交流委員を中心につきなり計画的に準備が進んでいたようです。



球技大会前後から「新しい企画はありますか?」と生徒会役員から全校生徒に呼びかけが始まりました。今年の生徒会長は「短期交換留学」経験者だけあって、現地校との交流にも意欲的です。英語堪能な地域交流委員長も委員のメンバーをよく集めて周到に準備をすすめました。その甲斐あって、当日は沢山の方々が本校を訪れてくれました。短期交換留学の相手校ミレースクールの生徒たちはもちろん、地元の小学校など数校から大勢の生徒たちが集まりました。地元のお年を召した方々や家族連れも目立ちました。ステイ先のホストファミリーやECの授業で訪れたシニアコミュニティーの方々など顔なじみの人たちも沢山いらっしゃっていました。

数年前に比べて生徒の数もずっと増え、経験を重ねた分ホスト役としての余裕も出てきたこともあり、今年は例年とは少し形式を変えました。



Japanese Evening



「これが終了すると、お客様達を各会場に」案内。メイン会場では恒例の「コマ」「あやとり」「箸」「書道」「折り紙」「剣玉」など実際に「体験」してもらなが日本古来の遊びや伝統を紹介しました。これに加えて去年から始まつた「福笑い」など新しい企画でも皆さんに楽しんでもらえたようです。別会場では「剣道」のデモンストレーションや「日本語」教室、そしてイギリスに3カ所にしかないと言われる本格的な茶室での茶道体験コーナーも盛況でした。

皆さんのが集まるとまず大ホールのスクリーンを使ったプレゼンテーションを行い、「日本」を紹介。「駄菓子」「札幌雪祭り」「日欧花火比較」「温泉」など話題も多岐にわたり、中には日本が誇る最新の「トヨレ」の話や日本独自の「バレンタインデー」についてなどオリジナリティに富む発表もありました。

終了間際になつても剣玉をやり続ける小学生、折り紙の説明に真剣に聞き入るシニアの方たち…今年のJapanese Eveningも大成功でした。

レディ・ジェイン・グレイについて

小五 吉岡 美緒

九日女王と呼ばれる、レディ・ジェイン・グレイという人を知っていますか。このレディ・ジェイン・グレイと呼ばれる人物は、十七才で王位を授かりました。ところで、その『九日女王』を今から説明します。

レディ・ジェイン・グレイは十六世紀のイギリス女性で日本ではほとんど知られていません。その名の通り在位は九日間でした。この女性は、ギリシャ語がたんのうで、イギリスきっとの美少女だったそうです。その美しさはエリザベスと張り合うほどだったようです。政略結婚で結婚したため、十六歳での結婚でした。しかし義父ノーサンバーランド公爵は政敵を処刑し、強引に嫁を取つ立て女王にしてしまいました。しかし目的は、女王を傀儡にして政治をわが物にし、息子ギルフォードを国王にするこでした。重要ポストは、ノーサンバーランド家で固めたかったのです。

ロンドン塔へ行つた後、ナショナルギャラリーへ行つて、ジェイン・グレイの処刑される絵を見ました。ジェインの、「信仰を捨ててまで、生きる気はない」というのが印象的でした。なぜなら、ジェインみたいに生きたくても、死ななければいけない運命の人も世の中には多くいるからです。その時、私は生きていることのすばらしさを学びました。そこで買った本は、一生の宝物です。

私は、ロンドン塔に行つて、初めてジェイン・グレイを知りましたが、生きられるのに、信仰を捨てて生きる気はない」と言つたジェイン・グレイはすごい人だと思いました。私もそんな立派な人になりました。



春のミニ・アウティング



今年も5月にロンドンへミニ・アウティングで外出しました。

高1ではすっかり定例となった、世界史の先生による、ギリシャやローマの学習が大英博物館で行われました。学んだばかりの古代歴史を彫刻や遺物で見て知る学習です。

高2は、みな膝がわらってしまうほどに、セントポール大聖堂の長い長い階段を登り、鐘楼からのすばらしい眺めを堪能。小5から中3はテムズ川の遊覧船に乗り、ロンドン橋やセントポール大聖堂などを観光し、ロンドン塔でジェーン・グレイゆかりの場所を見学したのち、ナショナル・ギャラリーへまわって、彼女の最期を描いた大きな絵画を鑑賞しました。



処刑された人たち

小六

大石

桜子

入った瞬間に建物に囲まれた塔、ロンドン塔は私にとって、とても印象に残った場所でした。そこで私が気になつた人物はレディ・ジェイン・グレイです。彼女は九日間だけイギリスの女王でした。なので、彼女は日本や他の国ではあまり知られていません。

レディ・ジェイン・グレイはとても偉い女人で、彼女は十六歳で政略結婚させられ十七歳で殺されたと聞いて、私は何も罪をおかしていないのに、とても彼女はかわいそうと思いました。彼女はマリアー女王にカトリックに改宗するなら命は助けようと言わされたらしいのですが、彼女は、信仰を捨ててまで生きる気はないと言つたのです。

ロンドン塔で処刑された人たちの中にもう一人ジェイン・グレイのよう濡れ衣を着せられた人物がいました。彼女の名前は、アン・ブーリンという女王でした。アンに着せられた罪は濡れ衣であつたので、アン・ブーリンの亡靈が出るときれているそうです。私は何も罪をおかしていない人に罪を着せて処刑するというやり方にはおどろきました。

私はイギリスといつたら、ビッグ・ベンというイメージがあつたので、初めてロンドン塔の事を知つてこんな建物があつたのだなと思いました。ロンドン塔は私にとってとても印象的な場所でした。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 西日 | 2. 阵頭 | 3. 被る |
| 4. 遂滅 | 5. 閻魔 | 6. 凤凰 |
| 7. 輻輳 | | |

EC (英会話) 授業レポート

久しぶりの晴天。昨晚の雨がキヤンパスの芝生をしつとりと落ち着かせていた。遠くから生徒達の楽しそうな声。芝生の上には何やら見慣れぬ生き物が。子犬よりも大きな生き物がすくっと立つて大きな目でこちらを見つめていた。——イーグルオウル。「あまり近くに寄り過ぎてはダメよ。」

ECのイギリス人の先生がフクロウの周りに集まつた生徒達に穏やかに呼びかける。



「大きい！ 翼を広げたらどのくらいかな
あ？」
「OWL MANに聞いて御覧なさい…」
先生に促されるとそれほどためらわずに元
気に聞いた。

芝生の上に出ているフクロウは大小合わせて5羽ほどいたが、もう一羽、芝の片隅にチヨコソとおいてあるバスケットの中にもフクロウがいた。

「このフクロウは52才。フクロウは随分長生きなんだよ。」
「向こうにいる白いフクロウ

「How old are the owls?」
詰し始めて數か所の小学校5年生
にしきかり質問を書かれていた

一見寡黙な雰囲気のおじさんだが生徒達の質問にはゆっくりと温かい目で答えてくれた。

「そうだね、こうして見てるだけでも大きいけど、翼を広げると1.5メートルはあるんだ。」

女子生徒達が大騒ぎ。バスケットの中にいたのは毛むくじゃらのフクロウの赤ちゃん。他のフクロウとはいささか違つて見えたが、ヨロリとした大きな目だけは同じだった。

「ん、それはちょっと難しい質問だな。」



大満足の生徒達。
そして4時間も付
け合つてくれたMr.
Kenward も立教の生徒
達のことを大いに気に
入つてくれたらしい。
「いろんな学校をまわ
っている人だけど、立

A cartoon illustration of an owl with large, round eyes and a small beak, perched on a simple brown branch. The owl is facing right, with its body angled slightly towards the viewer.

がゆっくりとフクロウを乗せてくれた。英語の質問をする時よりもずっと緊張した面持ちで腕を差し出す女子生徒。でもいつたんその腕にフクロウが乗ると嬉しそうに友達に写真を撮ってもら

校の向こうでは Mr. Kenward が今度は高校生のグループに囲まれて質問を受けていた。高校生になると質問の内容もすっと高度だ。Mr. Kenward は 1 時間目の授業から昼食直前の 4 時間目まで、代わる代わるやつて来る生徒達の質問に一生懸命答えてくれた。おまけにフクロウ達を生徒達の腕に乗せてくれるサービスも… 厚手のカバーを腕

やってきた！

教の生徒達はどつても礼儀正しくいい子達だつて言つていたわ。今度あの赤ちゃんフクロウが大きくなつたらまた見せに来てくれるつて！」
雨上がりの快晴が良かつたのか、生徒達の準備が良かつたのか、はたまた Mr. Kenward の穏やかな人柄のお陰か、この企画の責任者、シャープ先生は満面の笑顔で嬉しそうに続いた。

ECの授業がまた面白くなりそうだ。



PEDESTRIANS の意味は何だと思う?
…歩く人?

物から想像して英語学習



信号機が青になっている時間が日本より短い

Boots というやっつきょくが、それぞれそのお店によって売っているものが違う



一つの村に、同じ店名の薬局で、処方箋専門のもの、眼科と併設されたもの、一般的な薬局、と三種類あることも、発見しました。



チャリティーショップが多いのも、イギリスの特徴。どのような村に行っても必ず一軒はチャリティーショップがある様子。



Oxfam というお店では、同じ店名にもかかわらず、本だけ、チャリティーショップ、などと区別がなされていておもしろかったです。

社会のフィールドワーク 小5～中1編

Cranleigh Discovery

クランレー村の探索



シンボルマークがいたるところにあった!

特に面白がっていたのは、村のシンボルのツル探しです。クランレーの村では、かつてツルを捕獲して王様へ献上していたようで、村のあちらこちらに、このシンボルが描かれているのです。



私のほうが先にみつけたよ!



こっちの上にもあるよ!



チャップレンより、「挨拶」



司祭 林 和広

4月より高野チャップレンの後任として日本聖公会神戸教区から派遣され、チャップレンとして着任してから最初の学期を終えました。昨秋に立教英國学院への派遣要請を受けた時は驚きとともに、自分のような若僧がその務めを果たすことができるのだろうかという不安を感じました。また、海外生活の経験の無い妻と3歳と1歳の小さな子供を連れての渡英にも不安を抱いておりました。しかし、新しい生活に戸惑いながらも、生徒たちと教員の方々との交わりを通して、刺激を受けながら過ごすことができております。

今回、初めて学院通信の原稿を書かせて頂いておりますが、まずは自己紹介からさせて頂きたいと思います。私は1974年、山口県の下関市生まれです。初めて英国を訪れたのは高校三年の秋です。ボーンマスでのホームステイ及び語学学校での学びをするためでした。その後、大学に進学、卒業後、企業に入社して7年目を迎えた時、聖職志願することを決意して勤めていた会社を退社、京都の神

学館で三年間、神学を学びました。神学館を卒業後、聖職（執事）に按手された年に聖公会の発祥地である英国の神学校で神学を学ぶ機会を頂き、ウェストヨークシャー州にある神学校に留学しました。本学院は全寮制の学校でありますが、私自身、8歳の時に始めたテニスに本格的に取り組む為、親元を離れて中学2年から高校3年生までの5年間、寮生活をしました。親元を離れて寮生活をしている生徒たちの姿を見ますと自分の昔の頃を思い出します。又、私が学んだ京都と英国の神学校は寮生活を義務づけていましたので、成人となつて再び寮生活をする機会を得ました。寮生活は多様な人間同士が共同で生活していくことの楽しさと難しさの両面を教えてくれました。

着任の先生方



4月に4名の先生方が着任されました。

磯田彩先生（養護教諭）、黒沢孝美先生（社会）、齊藤亜沙子先生（保健体育）、杉本麻由香先生（国語）です。共に学びを深め、良き時間を過ごされますように。

・・・ 訃報 ・・・

本校に16年お勤めになられた幸田政隆先生（数学）が、4月5日に永眠されました。

4月26日に、地元クランレー村のセント・ニコラス教会にて葬儀が執り行われました。

また本校で9年間バイオリンをご教授くださいました、MR DERYCK WAREING が4月19日にご逝去されました。

お二人の上に、主の祝福と安らかな眠りがありますように。どうぞ皆様もお祈りして下さい。



7月で、養護教諭として生徒達を常にあたたかく見守って下さいました丹沢美樹先生が離任されます。今までどうもありがとうございました。

立教英國学院通信の

電子配信への切り替えに
ご協力下さい。

ご意見、ご感想もこちらへどうぞ。

infodept@rikkyo.w-sussex.sch.uk